

# はじめに

近年 高齢者が尊厳を持って暮らすことの重要性が語られているが  
**多くの高齢者・職員が**

金銭的負担

人員不足

理解不足

制度的・社会的要因 から

**思いを**  
**あきらめる現状**

対象

軽度者6名  
 通所介護の新規利用者30名 認知症生活自立度Ⅱ以上12名

対象条件: H23.11~27.4の新規利用者79名のうち継続利用され  
 ADOC可能な方

対象外: 6か月未満及び介護更新なし 27名 } 合計  
 重度認知症など 13名 拒否9名 } 49名

【参考文献】

1)厚生労働省:2015年の高齢者介護～高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて～  
 (オンライン)入手先<www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/kentou/15kourei/3.html>  
 2)大野寛太,作田浩行,長山洋史,齋藤佑樹,友幸之介:作業療法におけるトップダウン  
 アプローチとボトムアップアプローチの実施状況. 神奈川県作業療法研究4(1):11-17,2014

## 取り組み

### ①ADL

施設側の都合  
 本来は不必要な **車いす** NG!  
 ・人員不足 ・広すぎる ・責任リスク

杖・歩行器、伝い歩き  
 家では何とか歩いている

**1.個々の能力に合わせる**  
 ・不必要な車いす・手引きは廃止!  
 ・自宅に近いパリアありの環境!

**2.実動作練習**  
 住み慣れた場所で少しでも安心して暮らせるように!

**柔軟に寄り添える環境作り**  
 自立へ向けて

送迎も練習の場

目指すのは **その人らしい生活!自立支援!**

### ②生きがい

施設側の都合  
 1.画一的なプログラム 塗り絵・折り紙・パワリハ等  
 2.有料制 金銭的理由や管理ができないと参加×  
 3.人員不足等 リスク・手間・管理 etc

**多様なニーズに応えられる環境作り (人・作業・環境)**

主役は皆さん!

OTは生きがいを創り見守る

**楽しみながら 心・身体・バランスup!**

### ③外出

1.施設外 外出 CM・Faへの説明 計画書記載で実現OK

2.財布の持ち込みOK これまでトラブルなし (見守れる環境)

3.季節感をリアルに体験 (RO)

4.不安や不穏なとき 近所の神社やバス停へ散歩 →穏やかに!

行きたいときに 買い物へ

**地域でOBP実践!**



心配・あきらめ 当事業所 利用者対象 **④保険外**  
 ⇒地域の保険外サービスやボランティアは.....いやだ!  
 『知らない人・サービスを使ってまでは...』

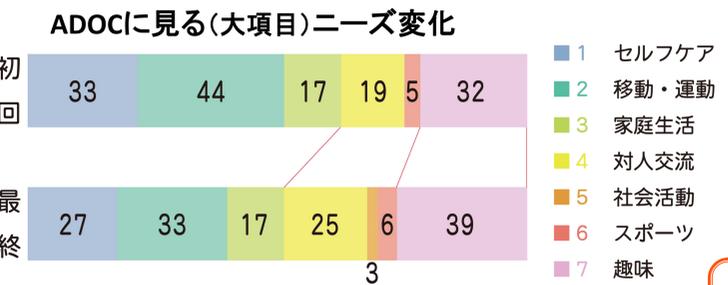
心身の健康や健康感が増す

『あきらめていたニーズ』を表出

馴染みの職員が寄り添う

## 結果

定量的変化	ADOC (大切な活動の満足)	FIM (しているADL)	介護度
平均点	2点→ <b>3.3点</b>	97.3点→ <b>102点</b>	平均 1.5→ <b>1.0</b>
改善率	<b>100%</b>	<b>86%以上</b>	中等度・重度の改善度 <b>33.3%</b> (全国平均8.7% (軽度者含む))



- ①**思いの変化** より個別的・社会的ニーズへ
- ②**言動の変化** ポジティブ! 周辺症状の軽減
- ③**痛みの変化** 慢性疼痛の緩和(心理社会的アプローチ)

主体的なセルフケアや生きがいを通じた成功体験

ネガティブ思考から **未来志向型へ!**

**より社会的な活動へ移行する方が約半数(46%)に!**



【参考文献】  
 3)厚生労働省:平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成25年度調査)  
 (11)生活期リハビリテーションに関する実態調査報告書(オンライン)入手先<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000>

## 考察

① 専門性を生かした「できる」環境作りにより、地域での **OBPの有効性**が証明される結果となった!

その人らしいセルフケアと生きがいが実践できると **「元気になる」**

費用効果も高い!

その人らしく **生き生きと暮らせる世の中に**

② 保険制度の縮小が進む中、保険外を含む **多様なサポートの充実**が期待されている!

地域ではOTの活躍を期待する声も!

**地域資源の充実!**

**地域経済への貢献!** (保険支出の軽減)

達成感を通じたラポール形成

「無償サポート(外出同行・無償運送)」 「有償サポート(宿泊同行など)」

**結論** 地域の高齢者・職員が『できると思える』サポートが必要

相互の充実感・自己効力感↑

他職種との協働

サポート体制の構築

社会貢献

【参考文献】  
 4)藪脇健司:高齢者のその人らしさを捉える作業療法. 文光堂, 2015